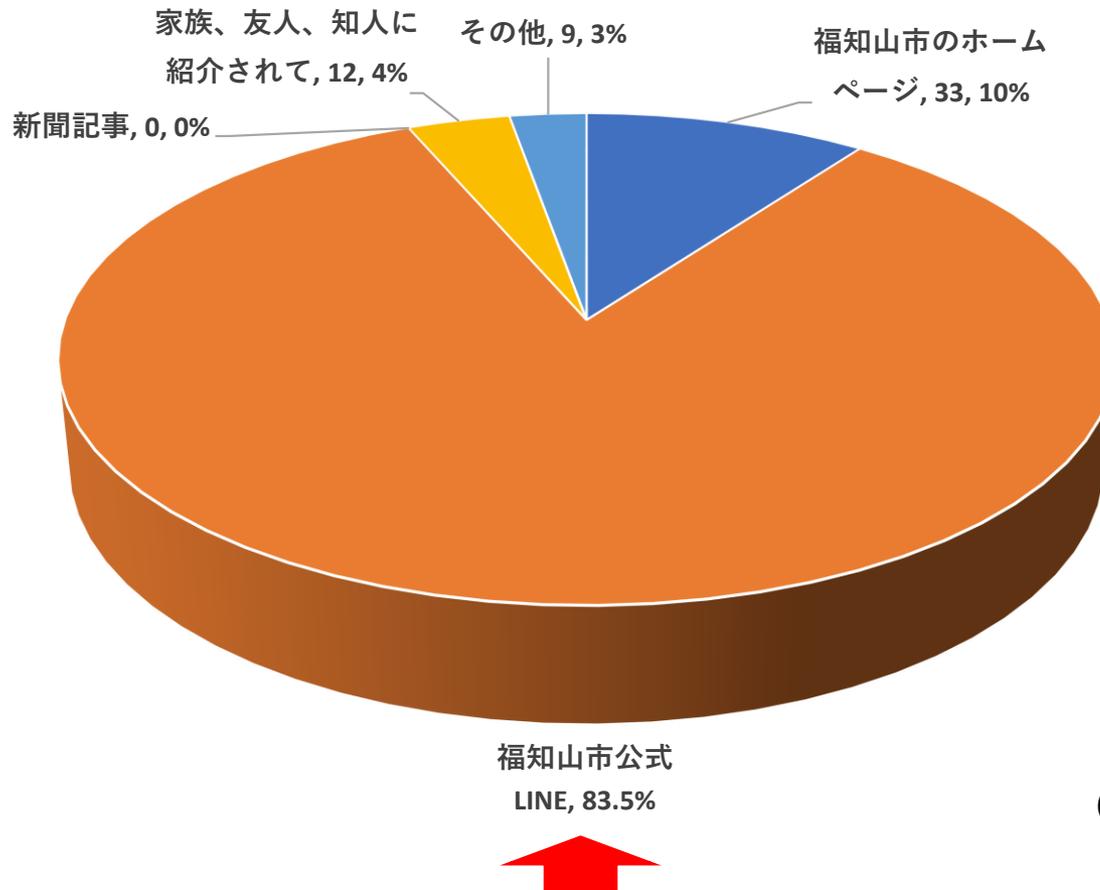


福知山市のスマートシティ推進 に向けたアンケート調査 分析結果

福知山公立大学地域経営学部 助教
佐藤 充

sato-mitsuru@fukuchiyama.ac.jp

◆ 分析対象



(筆者作成)

今回の分析対象者は、福知山市公式LINEで調査を知った274名の回答者とした。

◆ 回答者の年代・年代区分 (n=274)

年 齢	度 数
10歳代	8
20歳代	26
30歳代	73
40歳代	66
50歳代	44
60歳代	43
70歳代以上	14



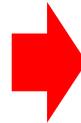
【分析で用いた年代区分】

年代区分	度 数
10-20代	34
30代	73
40代	66
50代	44
60代以上	57

(筆者作成)

◆ 回答者の職業・職業区分 (n=274)

職業	度数
会社員、団体職員、 公務員	141
パートタイマー、 アルバイト	57
主に家事や育児	28
無職	18
学生（大学生 ・専門学校生等）	13
自営業	11
農業	2
その他	4



【分析で用いた職業区分】

職業区分	度数
会社員、団体職員、 公務員	141
パートタイマー、 アルバイト	57
その他	48
主に家事や育児	28

(筆者作成)

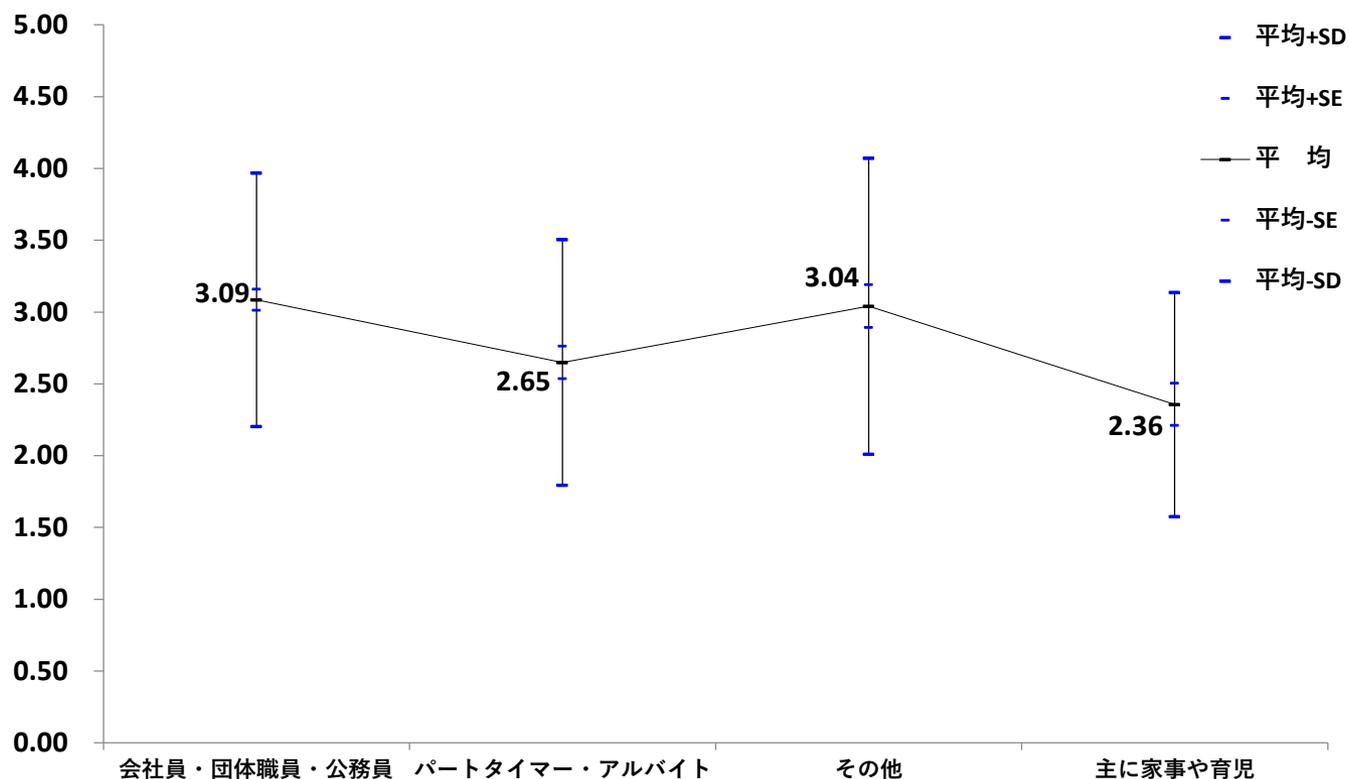
◆ 年代区分 × 職業区分 (n=274)

	会社員・団体 職員・公務員	パートタイ マー ・アルバイト	その他	主に家事や育 児	合 計
10-20代	14	1	14	5	34
30代	48	11	2	12	73
40代	34	19	6	7	66
50代	27	10	6	1	44
60歳代以上	18	16	20	3	57
合 計	141	57	48	28	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(12) = 59.32, p < .01$)。

(筆者作成)

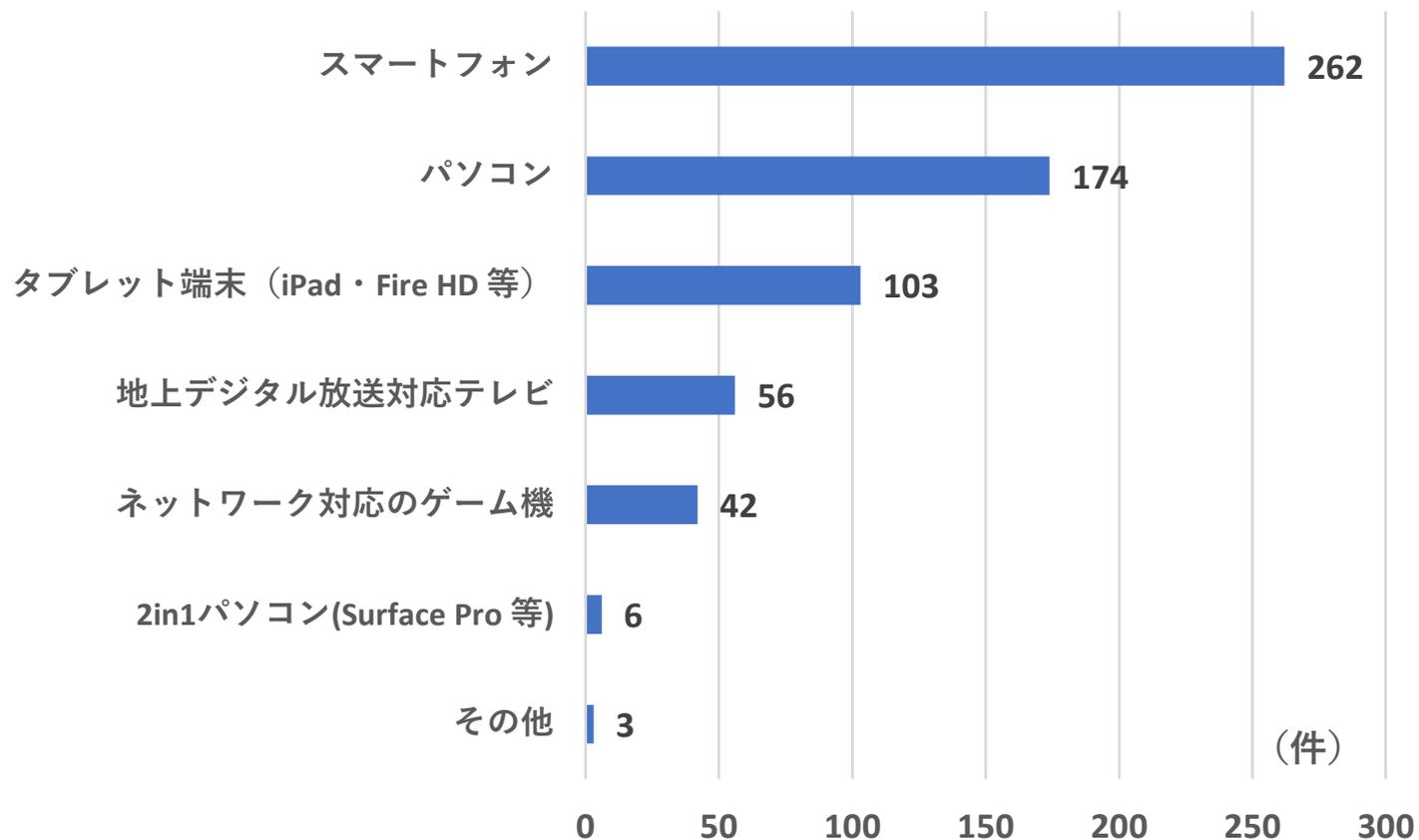
◆ 職業区分 × ICT化への関心度 (5点満点・n=144)



※分散分析の結果、各項目の平均値は職業区分で有意差が認められた($F(3)=7.32, p<.01$)。

(筆者作成)

◆ インターネットの利用機器 (n=274、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × パソコン (n=274)

	パソコン		合 計
	非該当	該当	
10-20代	15	19	34
30代	32	41	73
40代	30	36	66
50代	14	30	44
60歳代以上	9	48	57
合 計	100	174	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 15.79, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × パソコン (n=274)

	パソコン		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	53	88	141
パートタイマー・ア ルバイト	25	32	57
その他	4	44	48
主に家事や育児	18	10	28
合 計	100	174	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 27.16, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 地上デジタル放送対応テレビ (n=274)

	地デジ対応テレビ		合 計
	非該当	該当	
10-20代	29	5	34
30代	47	26	73
40代	54	12	66
50代	37	7	44
60歳代以上	51	6	57
合 計	218	56	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 15.24, p < .05$)。

(筆者作成)

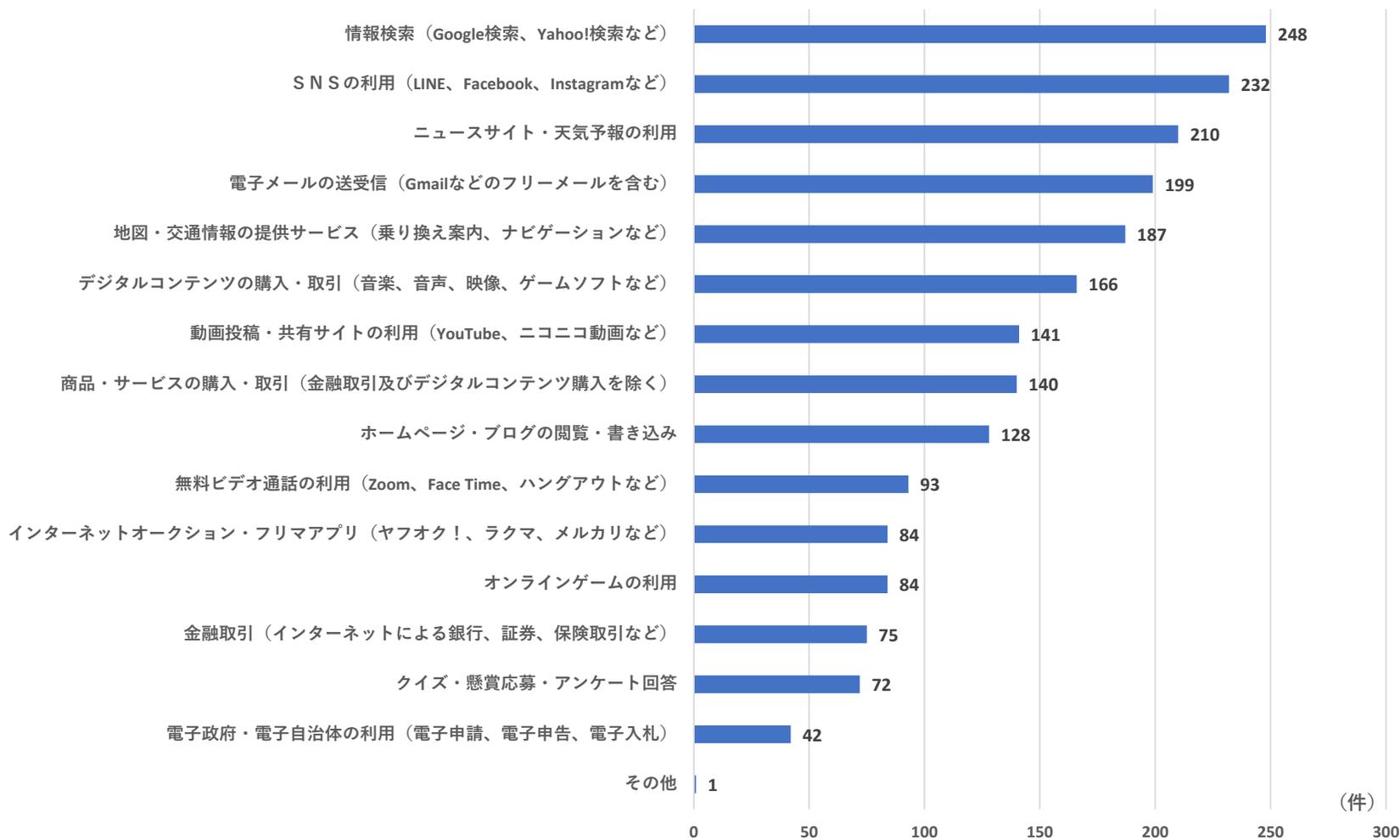
◆ 年代区分 × ネットワーク対応のゲーム機 (n=274)

	ネットワーク対応のゲーム機		合 計
	非該当	該当	
10-20代	25	9	34
30代	53	20	73
40代	54	12	66
50代	43	1	44
60歳代以上	57	0	57
合 計	232	42	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 27.96, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ インターネットの利用目的 (n=274、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × SNSの利用 (LINE、Facebook、Instagramなど) (n=274)

	SNSの利用		合 計
	非該当	該当	
10-20代	0	34	34
30代	6	67	73
40代	13	53	66
50代	6	38	44
60歳代以上	17	40	57
合 計	42	232	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 19.29, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 無料ビデオ通話の利用 (Zoom、Face Time、ハングアウトなど) (n=274)

	無料ビデオ通話の利用		合 計
	非該当	該当	
10-20代	13	21	34
30代	44	29	73
40代	47	19	66
50代	32	12	44
60歳代以上	45	12	57
合 計	181	93	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 18.71, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × オンラインゲーム (n=274)

	オンラインゲーム		合 計
	非該当	該当	
10-20代	19	15	34
30代	46	27	73
40代	40	26	66
50代	33	11	44
60歳代以上	52	5	57
合 計	190	84	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 20.15, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 動画投稿・共有サイトの利用 (YouTube、ニコニコ動画など) (n=274)

	動画投稿・共有サイトの利用		合 計
	非該当	該当	
10-20代	10	24	34
30代	31	42	73
40代	27	39	66
50代	22	22	44
60歳代以上	43	14	57
合 計	133	141	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 24.15, p < .01$)。

(筆者作成)

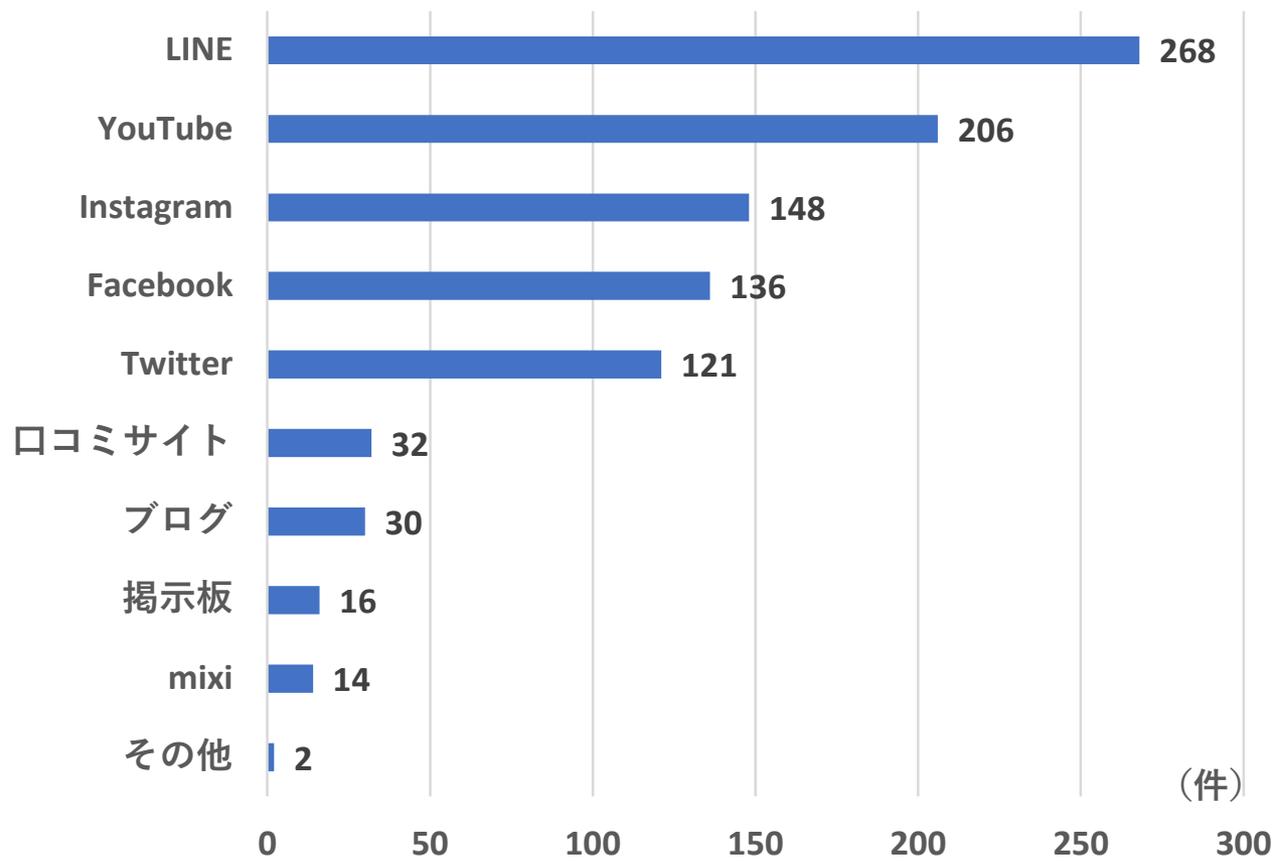
◆ 年代区分 × デジタルコンテンツの購入・取引 (音楽、音声、映像、ゲームソフトなど) (n=274)

	デジタルコンテンツの購入・取引		合 計
	非該当	該当	
10-20代	11	23	34
30代	23	50	73
40代	29	37	66
50代	14	30	44
60歳代以上	31	26	57
合 計	108	166	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 9.60, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ ソーシャルメディアの利用 (n=274、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × YouTube (n=274)

	YouTube		合 計
	非該当	該当	
10-20代	3	31	34
30代	11	62	73
40代	19	47	66
50代	15	29	44
60歳代以上	20	37	57
合 計	68	206	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた($\chi^2(4) = 14.19, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × Twitter (n=274)

	Twitter		合 計
	非該当	該当	
10-20代	5	29	34
30代	36	37	73
40代	39	27	66
50代	23	21	44
60歳代以上	50	7	57
合 計	153	121	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 48.59, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × Instagram (n=274)

	Instagram		合 計
	非該当	該当	
10 - 20代	6	28	34
30代	26	47	73
40代	31	35	66
50代	20	24	44
60歳代以上	43	14	57
合 計	126	148	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 34.09, p < .01$)。

(筆者作成)

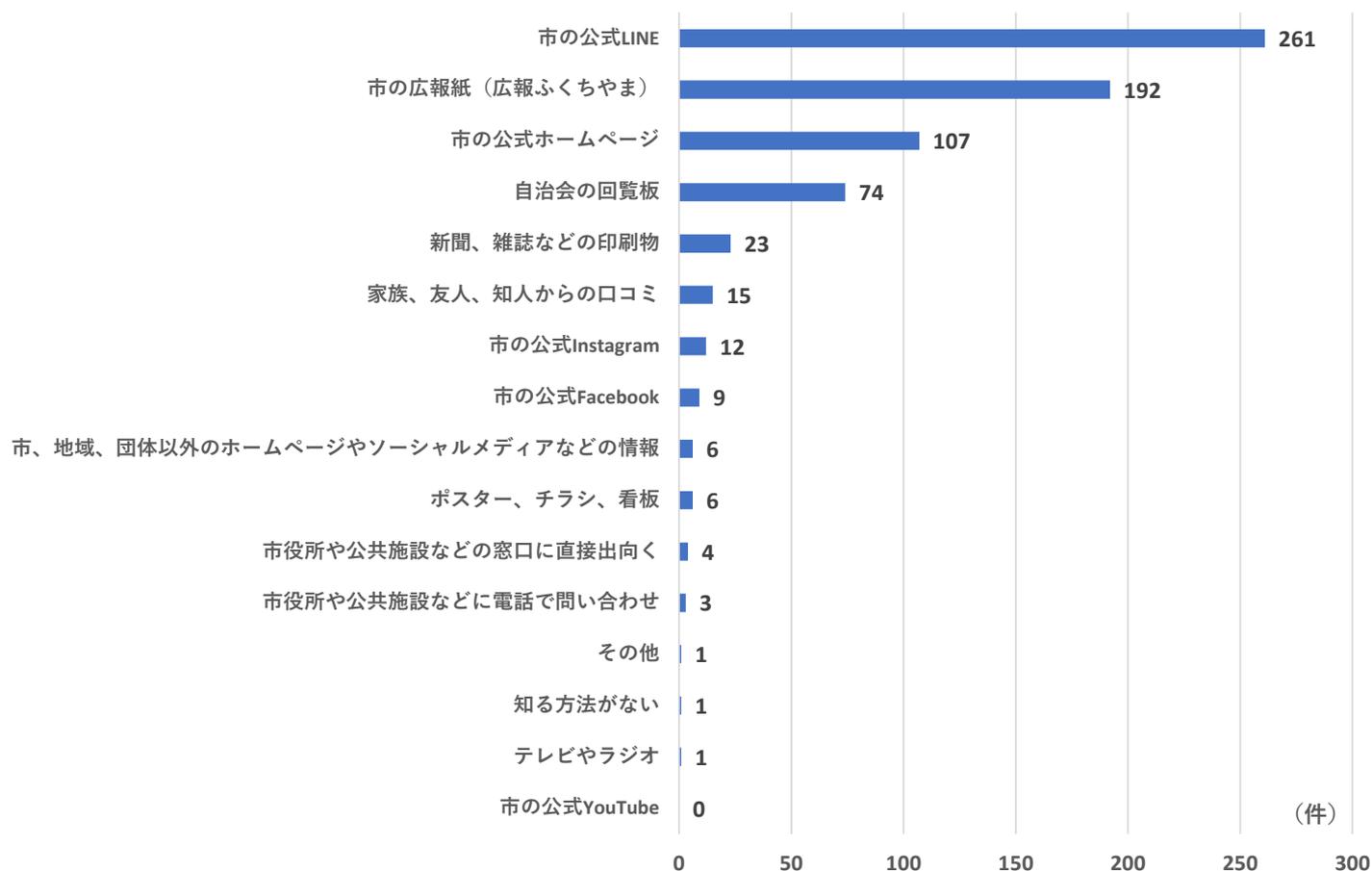
◆ 職業区分 × Instagram (n=274)

	Instagram		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	61	80	141
パートタイマー・ア ルバイト	28	29	57
その他	29	19	48
主に家事や育児	8	20	28
合 計	126	148	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 8.09, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 福知山市が発信する情報の入手方法 (n=274、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 市の広報紙（広報ふくちやま） (n=274)

	市の広報紙（広報ふくちやま）		合 計
	非該当	該当	
10-20代	15	19	34
30代	26	47	73
40代	18	48	66
50代	16	28	44
60歳代以上	7	50	57
合 計	82	192	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 13.95, p < .01$)。

(筆者作成)

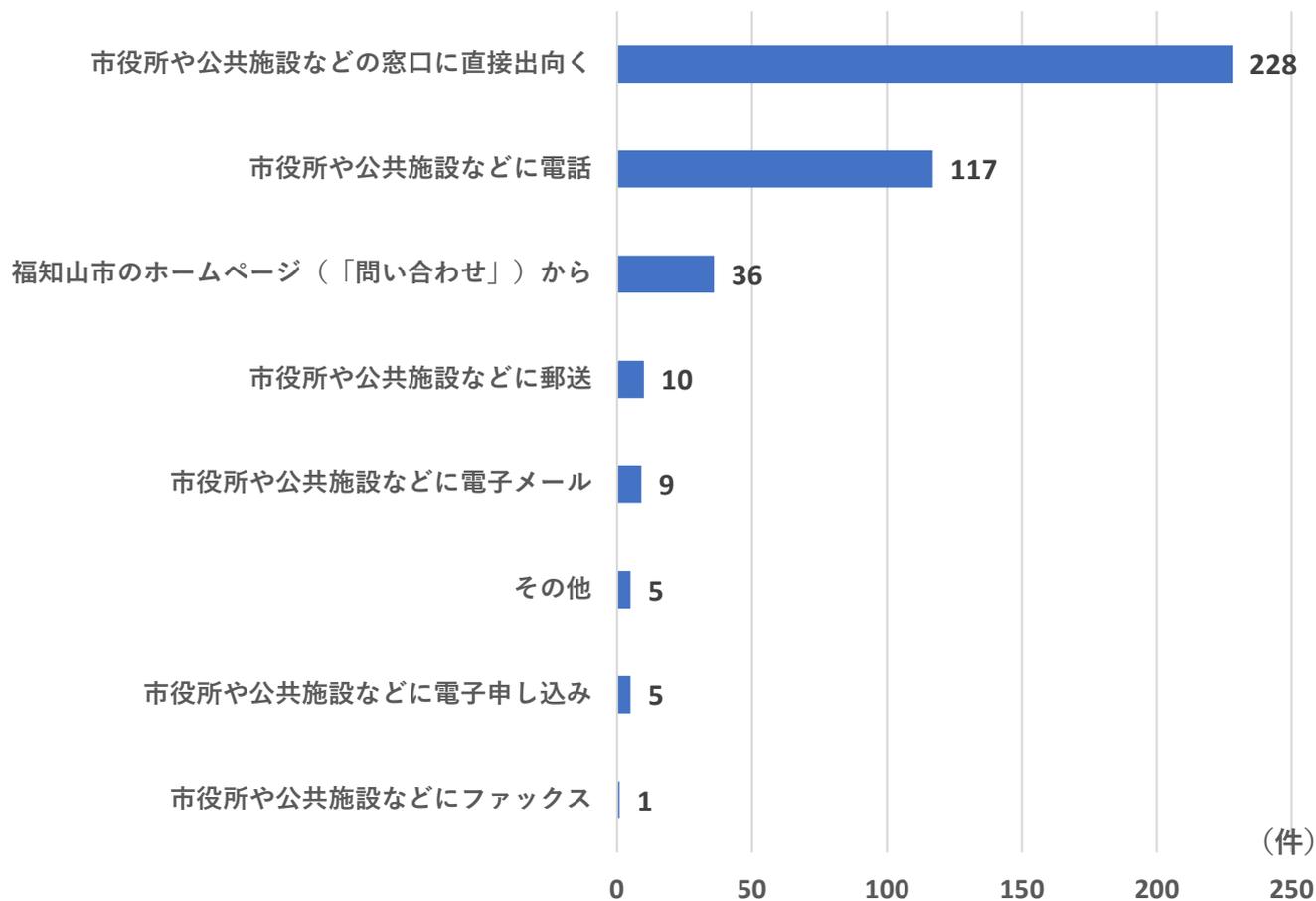
◆ 年代区分 × 自治会の回覧板 (n=274)

	自治会の回覧板		合 計
	非該当	該当	
10-20代	30	4	34
30代	59	14	73
40代	47	19	66
50代	26	18	44
60歳代以上	38	19	57
合 計	200	74	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 11.85, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 市役所への手続き・相談・問い合わせ方法 (n=274、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 市役所や公共施設などに電話 (n=274)

	市役所や公共施設などに電話		合 計
	非該当	該当	
10-20代	25	9	34
30代	46	27	73
40代	36	30	66
50代	27	17	44
60歳代以上	23	34	57
合 計	157	117	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた($\chi^2(4) = 11.83, p < .05$)。

(筆者作成)

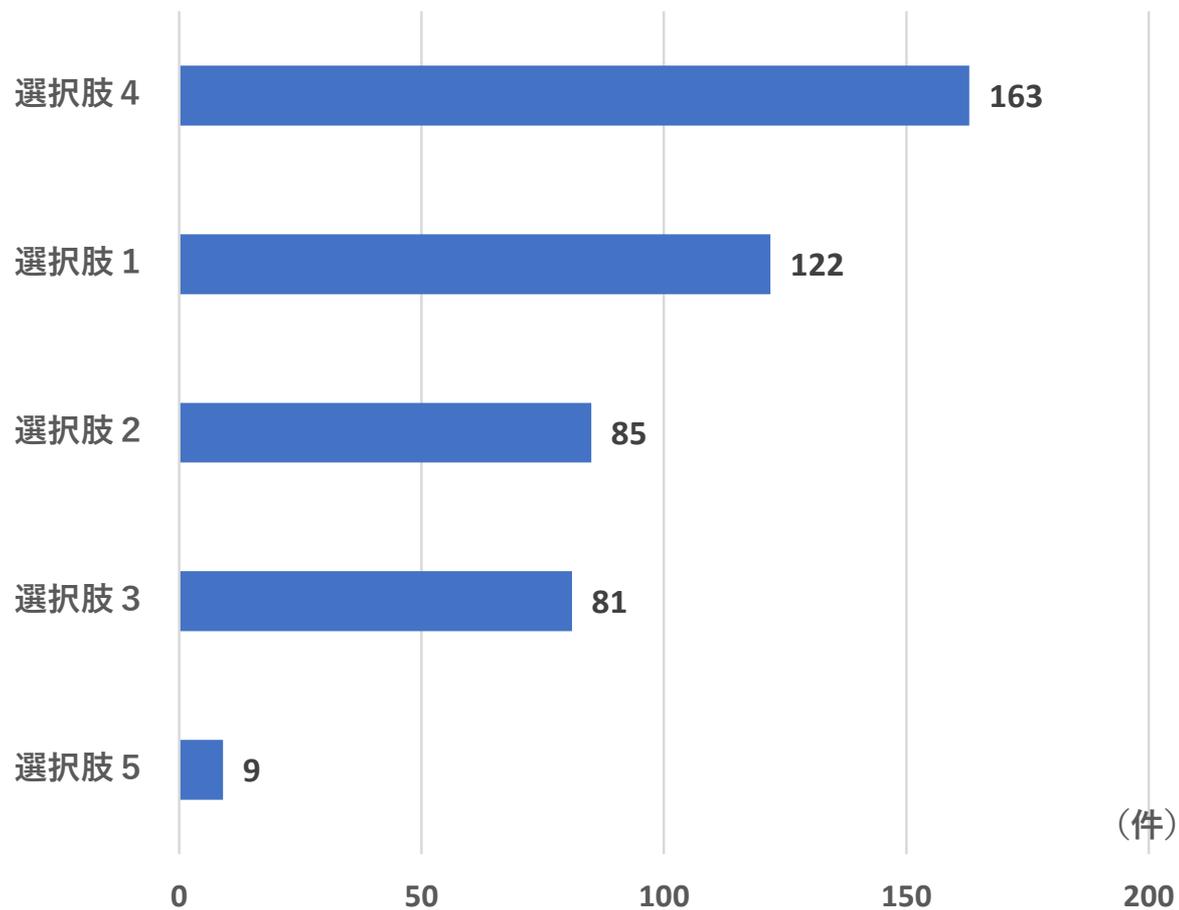
◆ 年代区分×市役所や公共施設などに電子申し込み(n=274)

	電子申し込み		合 計
	非該当	該当	
10-20代	31	3	34
30代	72	1	73
40代	65	1	66
50代	44	0	44
60歳代以上	57	0	57
合 計	269	5	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた($\chi^2(4) = 11.30, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 子育て分野(n=235、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 子育て分野選択肢 1 (n=235)

	子育て選択肢 1		合 計
	非該当	該当	
10 - 20代	15	16	31
30代	14	58	72
40代	38	21	59
50代	23	15	38
60歳代以上	23	12	35
合 計	113	122	235

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 36.67, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × 子育て分野選択肢 1 (n=235)

	子育て選択肢 1		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	62	63	125
パートタイマー・ア ルバイト	23	22	45
その他	22	16	38
主に家事や育児	6	21	27
合 計	113	122	235

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 8.98, p < .05$)。

(筆者作成)

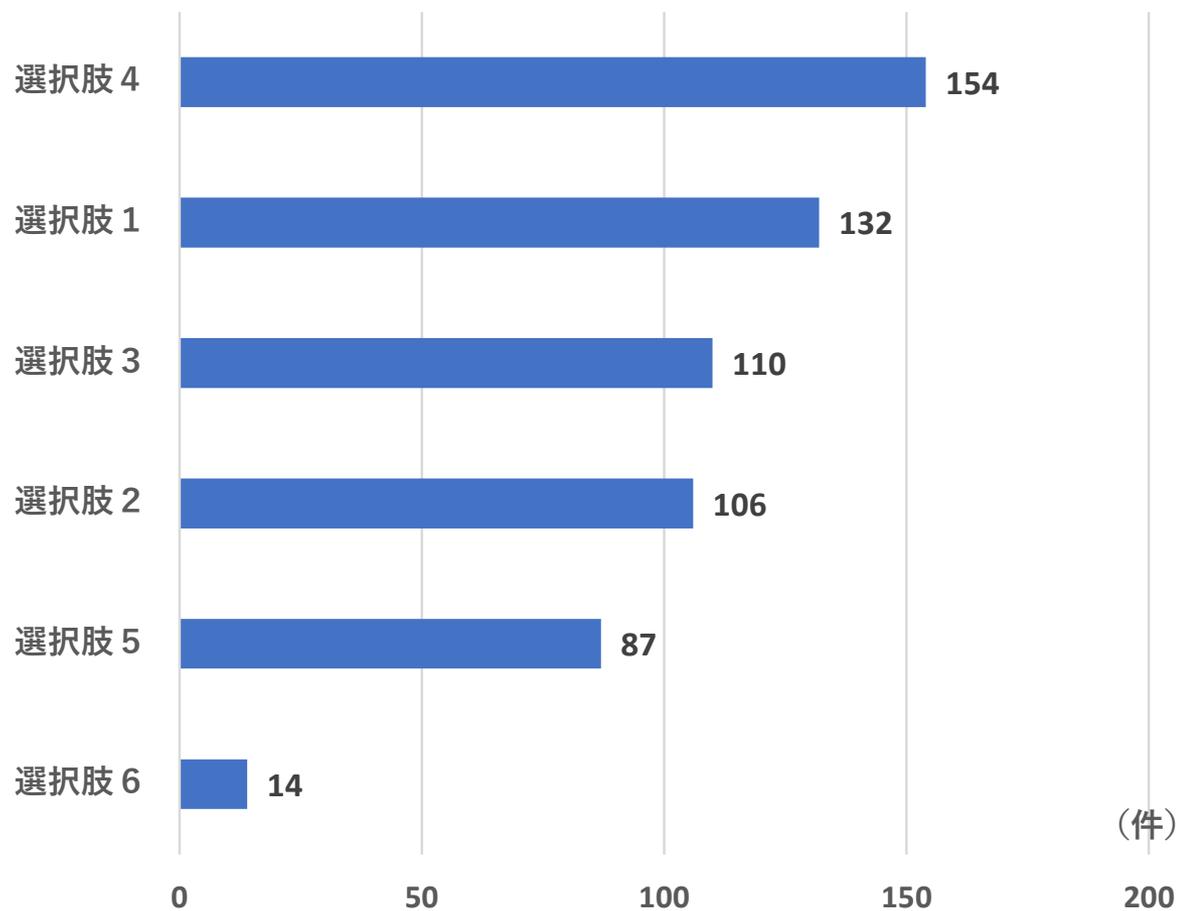
◆ 年代区分 × 子育て分野選択肢3 (n=235)

	子育て選択肢3		合 計
	非該当	該当	
10-20代	23	8	31
30代	40	32	72
40代	35	24	59
50代	26	12	38
60歳代以上	30	5	35
合 計	154	81	235

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 11.66, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 教育分野 (n=240、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 教育分野選択肢 1 (n=240)

	教育選択肢 1		合 計
	非該当	該当	
10-20代	9	19	28
30代	18	55	73
40代	29	33	62
50代	22	15	37
60歳代以上	30	10	40
合 計	108	132	240

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 31.83, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × 教育分野選択肢2 (n=240)

	教育選択肢2		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	74	55	129
パートタイマー・ア ルバイト	29	19	48
その他	24	14	38
主に家事や育児	7	18	25
合 計	134	106	240

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 9.21, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 教育分野選択肢3 (n=240)

	教育選択肢3		合 計
	非該当	該当	
10 - 20代	16	12	28
30代	29	44	73
40代	36	26	62
50代	20	17	37
60歳代以上	29	11	40
合 計	130	110	240

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 12.03, p < .05$)。

(筆者作成)

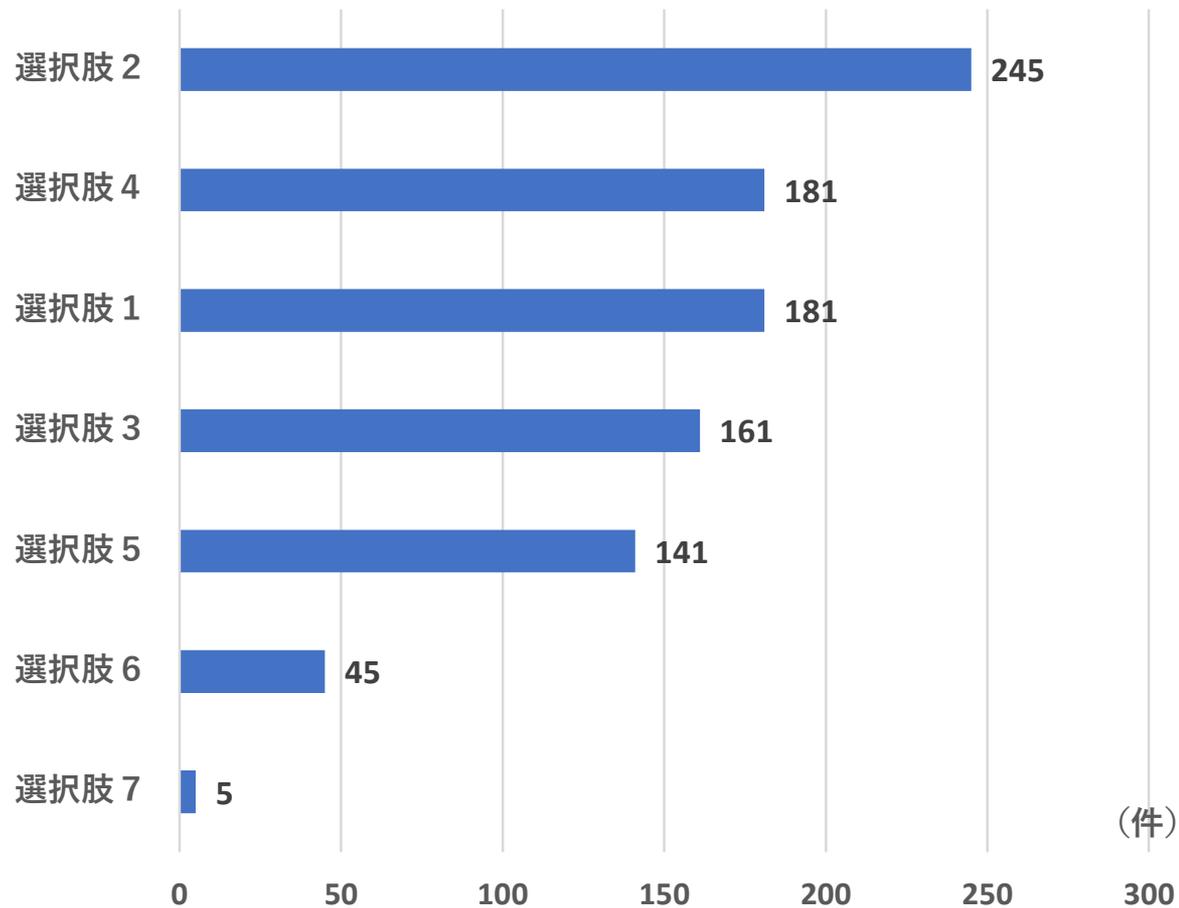
◆ 職業区分 × 教育分野選択肢5 (n=240)

	教育選択肢5		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	84	45	129
パートタイマー・ア ルバイト	29	19	48
その他	19	19	38
主に家事や育児	21	4	25
合 計	153	87	240

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 7.88, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 防災分野 (n=269、複数回答)



(筆者作成)

◆ 職業区分 × 防災分野選択肢3 (n=269)

	防災選択肢3		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	57	82	139
パートタイマー・ア ルバイト	29	26	55
その他	12	35	47
主に家事や育児	10	18	28
合 計	108	161	269

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 8.07, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 防災分野選択肢4 (n=269)

	防災選択肢4		合 計
	非該当	該当	
10-20代	8	25	33
30代	17	56	73
40代	27	39	66
50代	12	31	43
60歳代以上	24	30	54
合 計	88	181	269

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 9.86, p < .05$)。

(筆者作成)

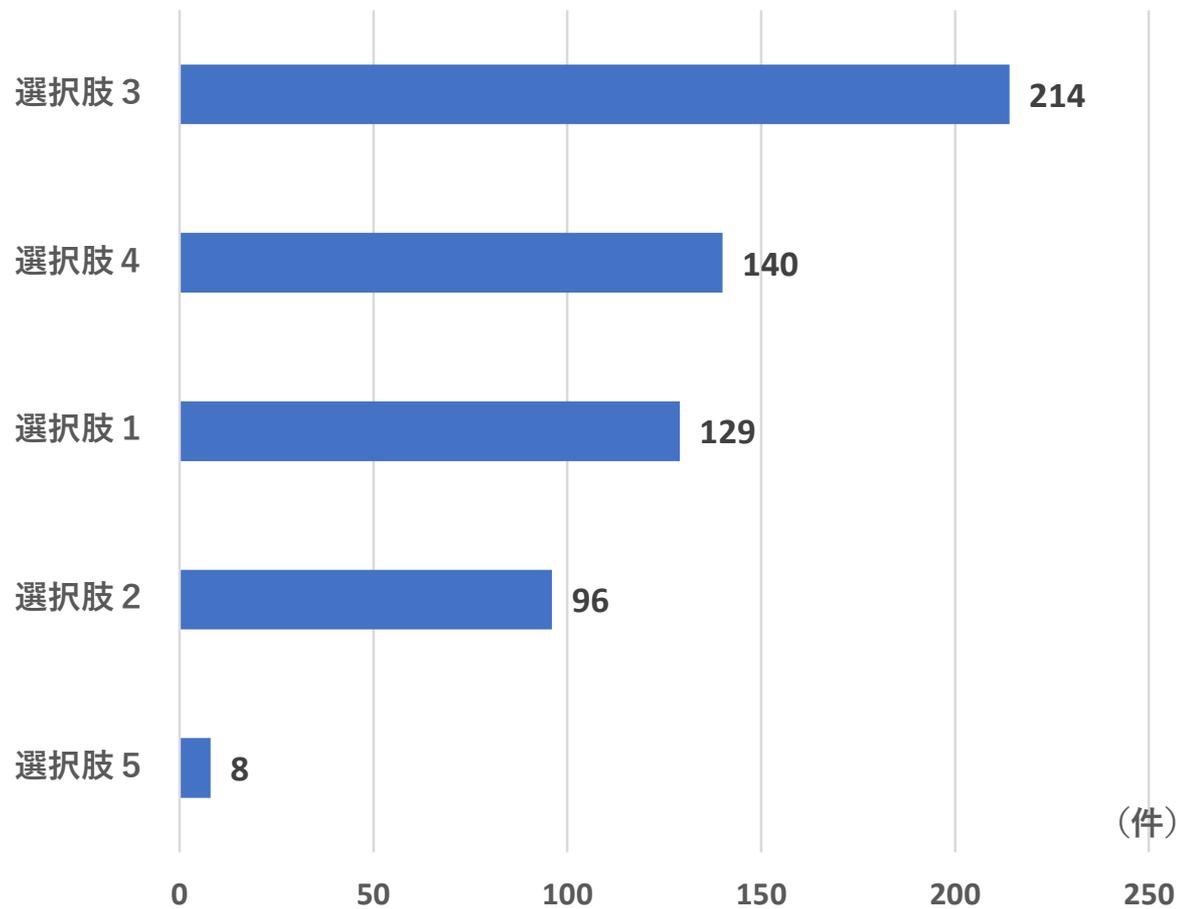
◆ 年代区分 × 防災分野選択肢6 (n=269)

	防災選択肢6		合 計
	非該当	該当	
10-20代	23	10	33
30代	56	17	73
40代	60	6	66
50代	35	8	43
60歳代以上	50	4	54
合 計	224	45	269

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 12.03, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 交通分野 (n=263、複数回答)



(筆者作成)

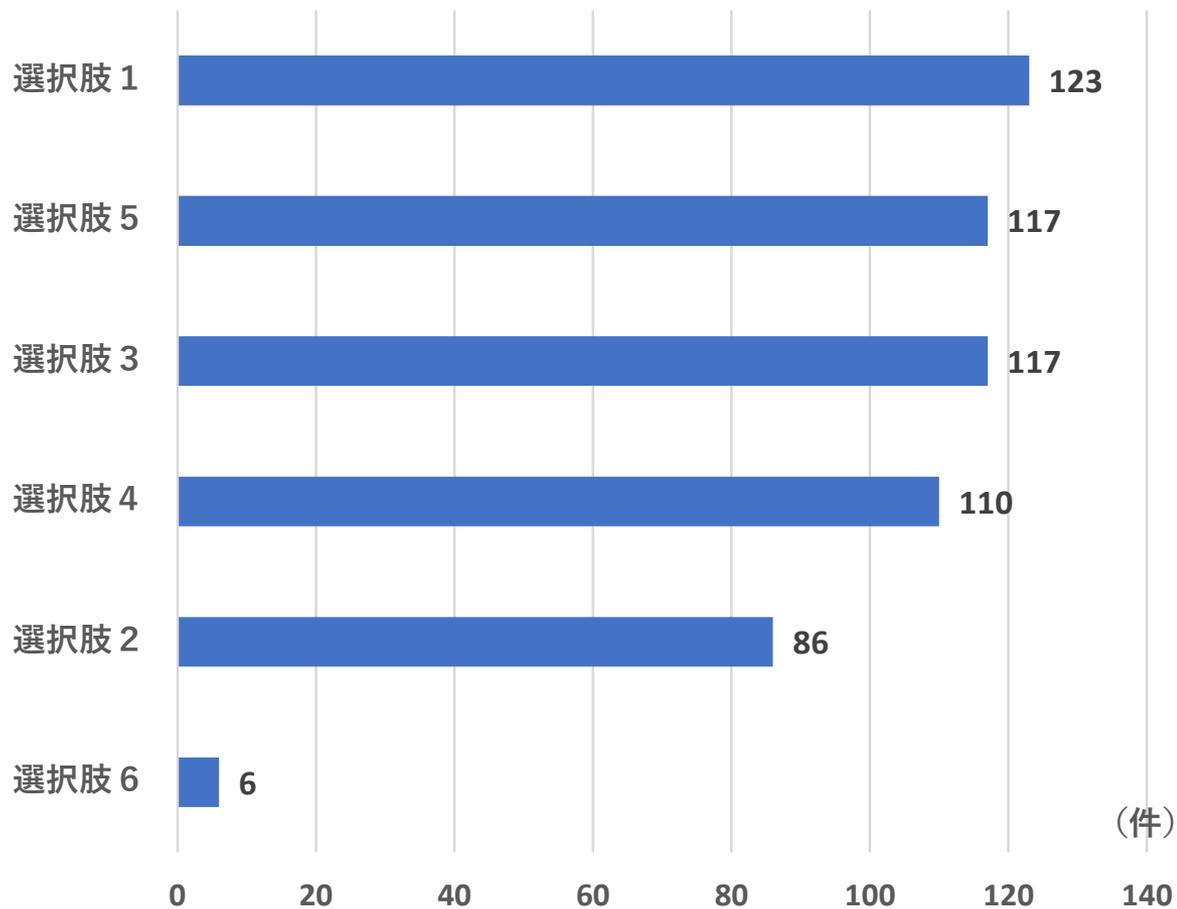
◆ 年代区分 × 交通分野選択肢3 (n=263)

	交通選択肢 1		合 計
	非該当	該当	
10-20代	11	22	33
30代	10	60	70
40代	17	45	62
50代	6	38	44
60歳代以上	5	49	54
合 計	49	214	263

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 12.03, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 産業分野 (n=231、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 産業分野選択肢3 (n=231)

	産業選択肢3		合 計
	非該当	該当	
10-20代	9	18	27
30代	24	39	63
40代	33	25	58
50代	20	22	42
60歳代以上	28	13	41
合 計	114	117	231

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 13.22, p < .05$)。

(筆者作成)

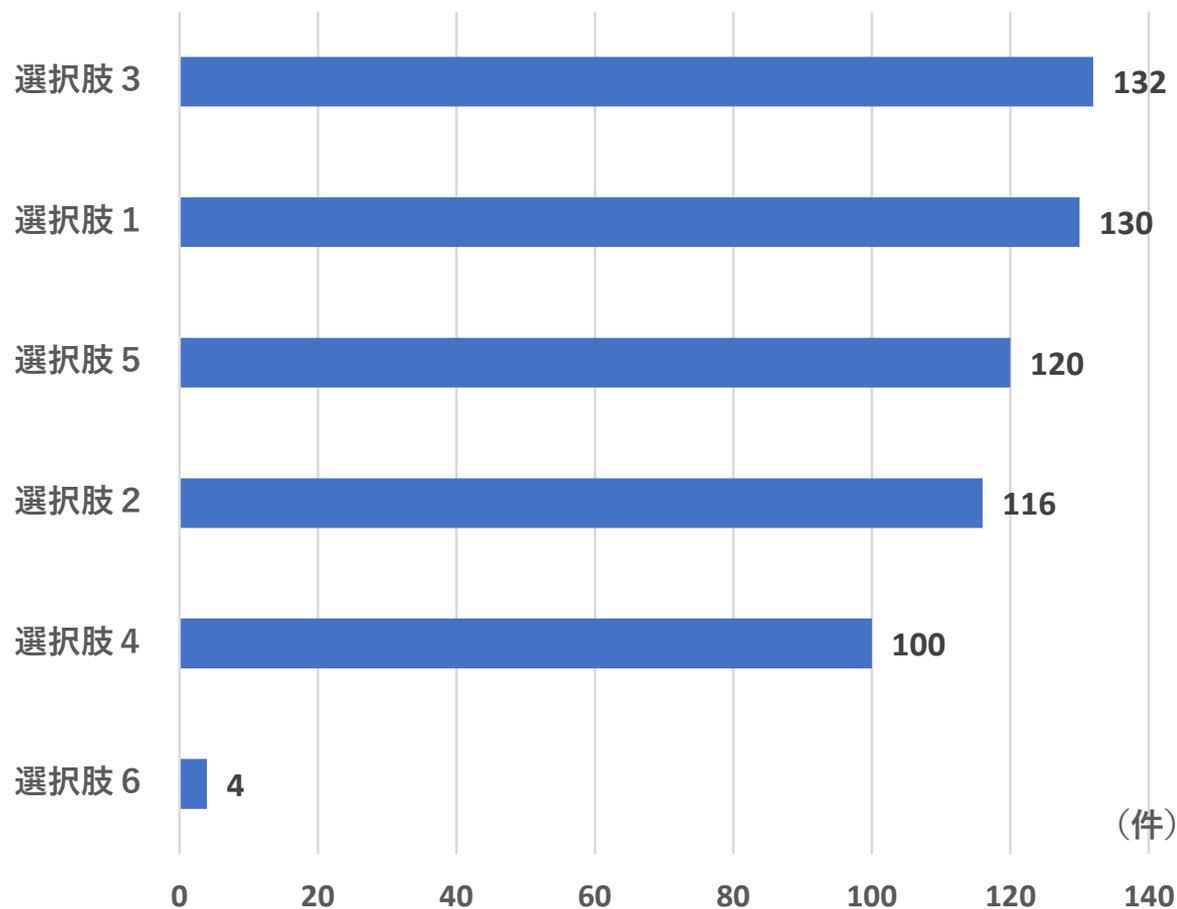
◆ 職業区分 × 産業分野選択肢5 (n=231)

	産業選択肢5		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	55	70	125
パートタイマー・ア ルバイト	24	20	44
その他	19	22	41
主に家事や育児	16	5	21
合 計	114	117	231

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 8.11, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 農林業分野 (n=226、複数回答)



(筆者作成)

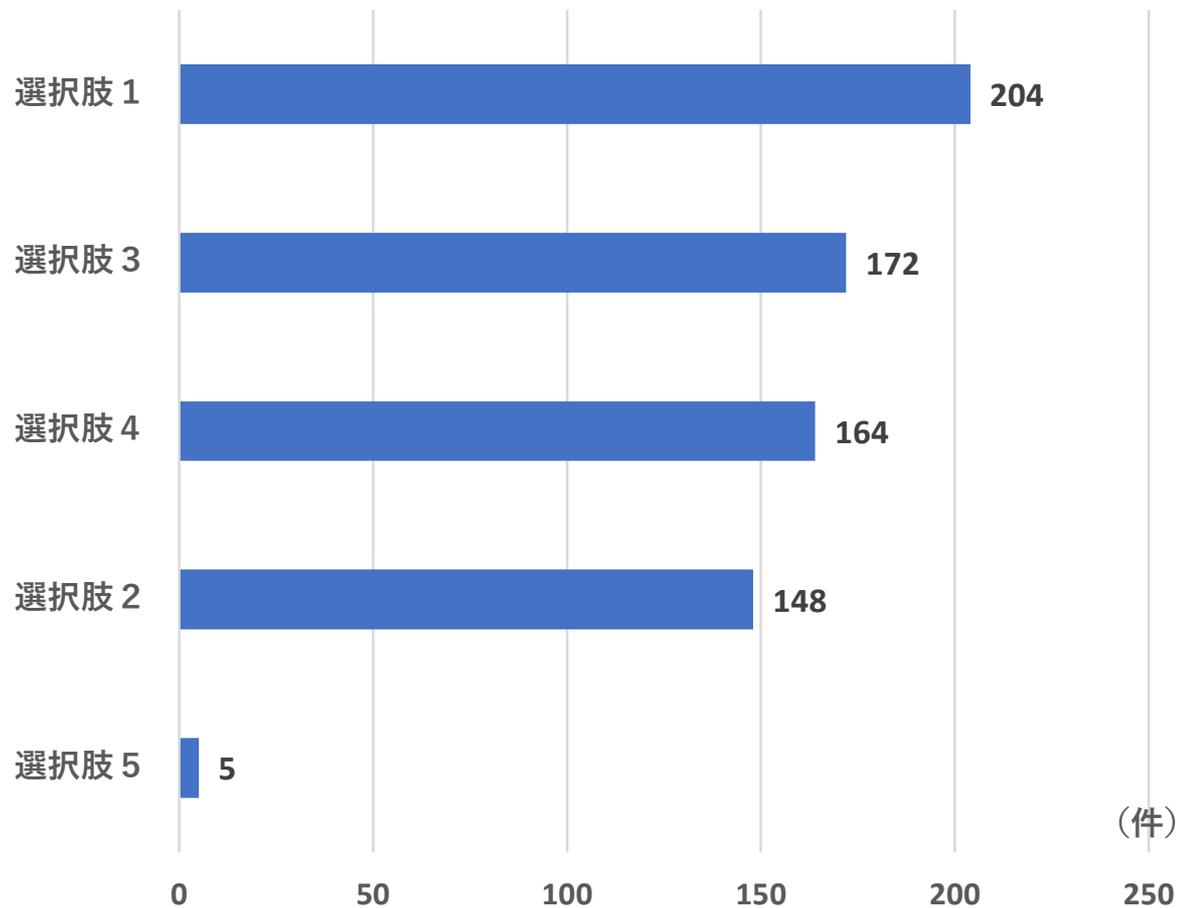
◆ 年代区分 × 農林業分野選択肢3 (n=226)

	農林業選択肢3		合 計
	非該当	該当	
10-20代	9	18	27
30代	18	45	63
40代	25	30	55
50代	16	21	37
60歳代以上	26	18	44
合 計	94	132	226

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 11.08, p < .05$)。

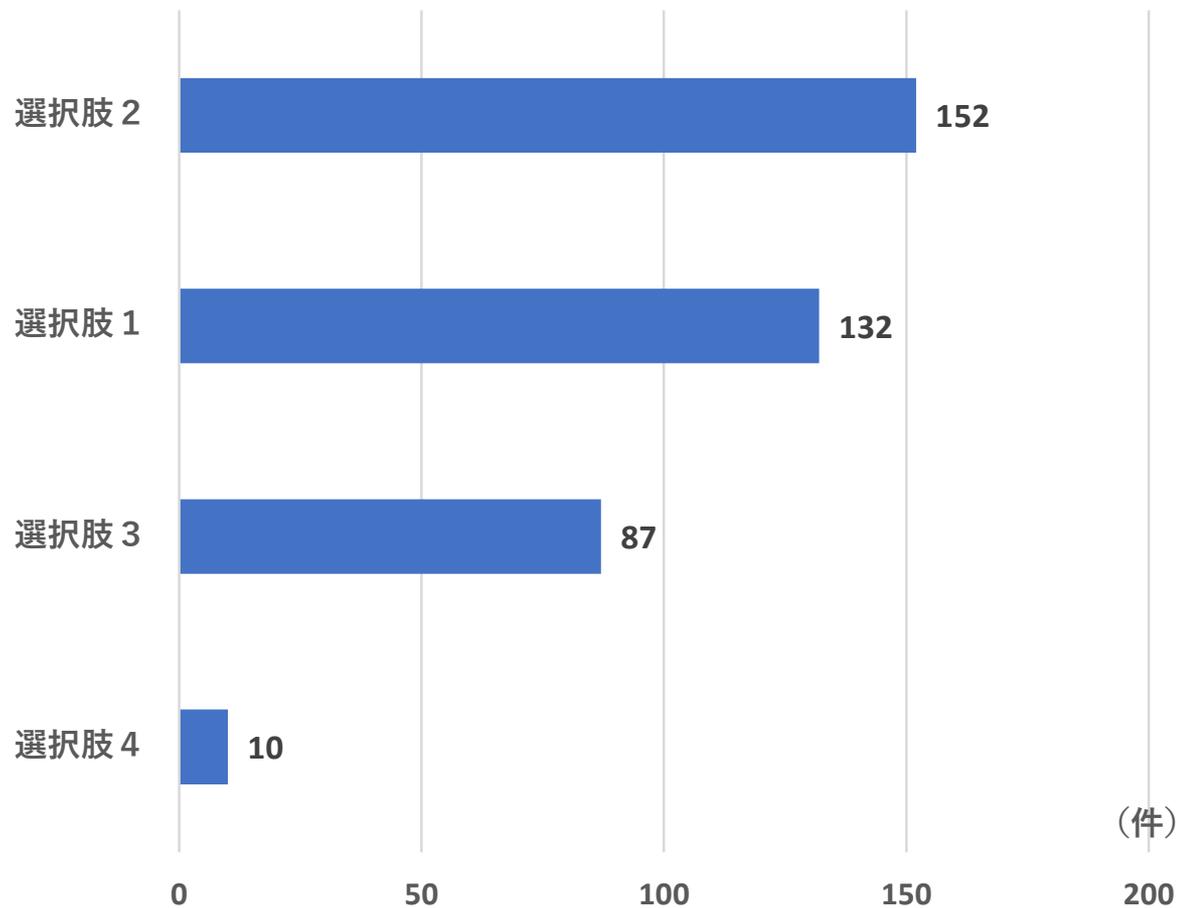
(筆者作成)

◆ 医療・福祉分野 (n=263、複数回答)



(筆者作成)

◆ 公園分野 (n=223、複数回答)



(筆者作成)

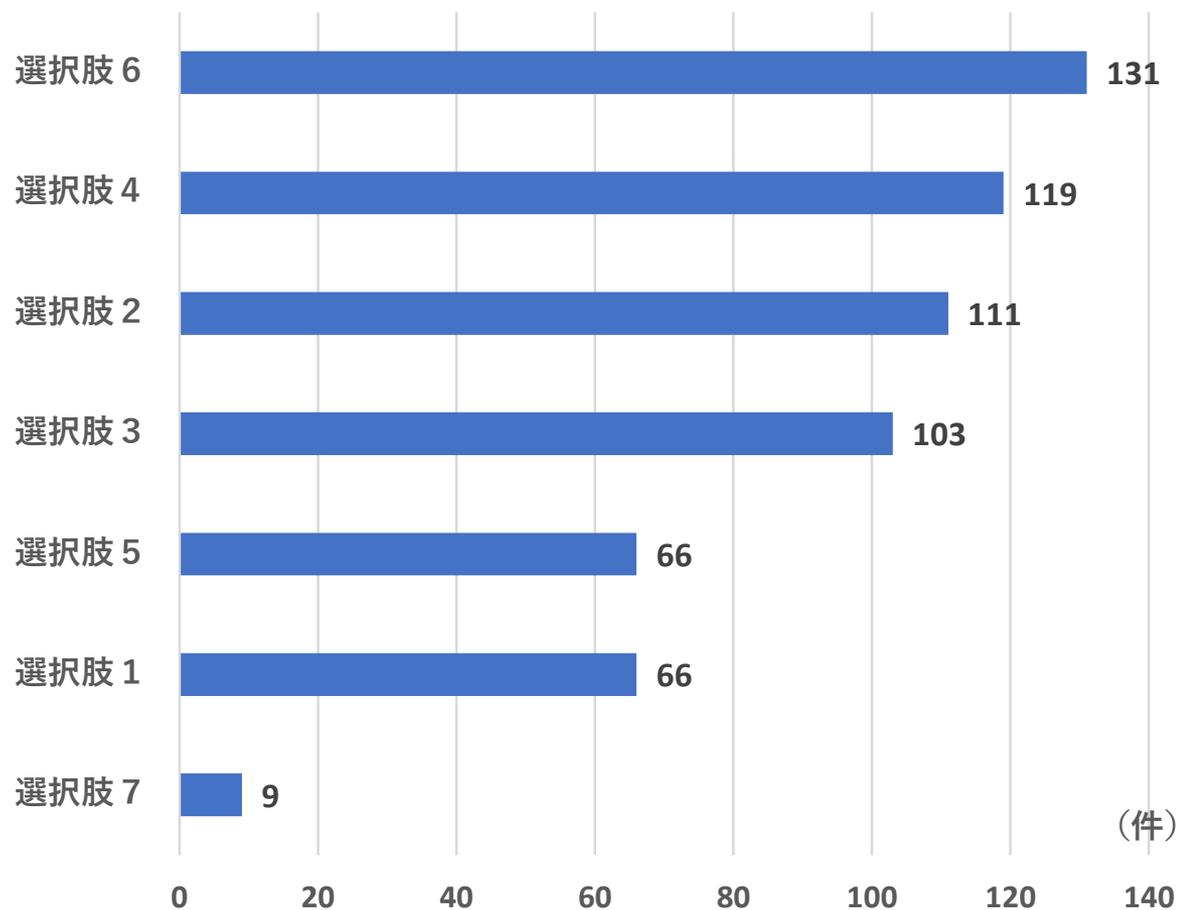
◆ 年代区分 × 公園分野選択肢2 (n=223)

	公園選択肢2		合 計
	非該当	該当	
10-20代	13	15	28
30代	15	41	56
40代	16	42	58
50代	7	32	39
60歳代以上	20	22	42
合 計	71	152	223

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 11.08, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 観光分野 (n=238、複数回答)



(筆者作成)

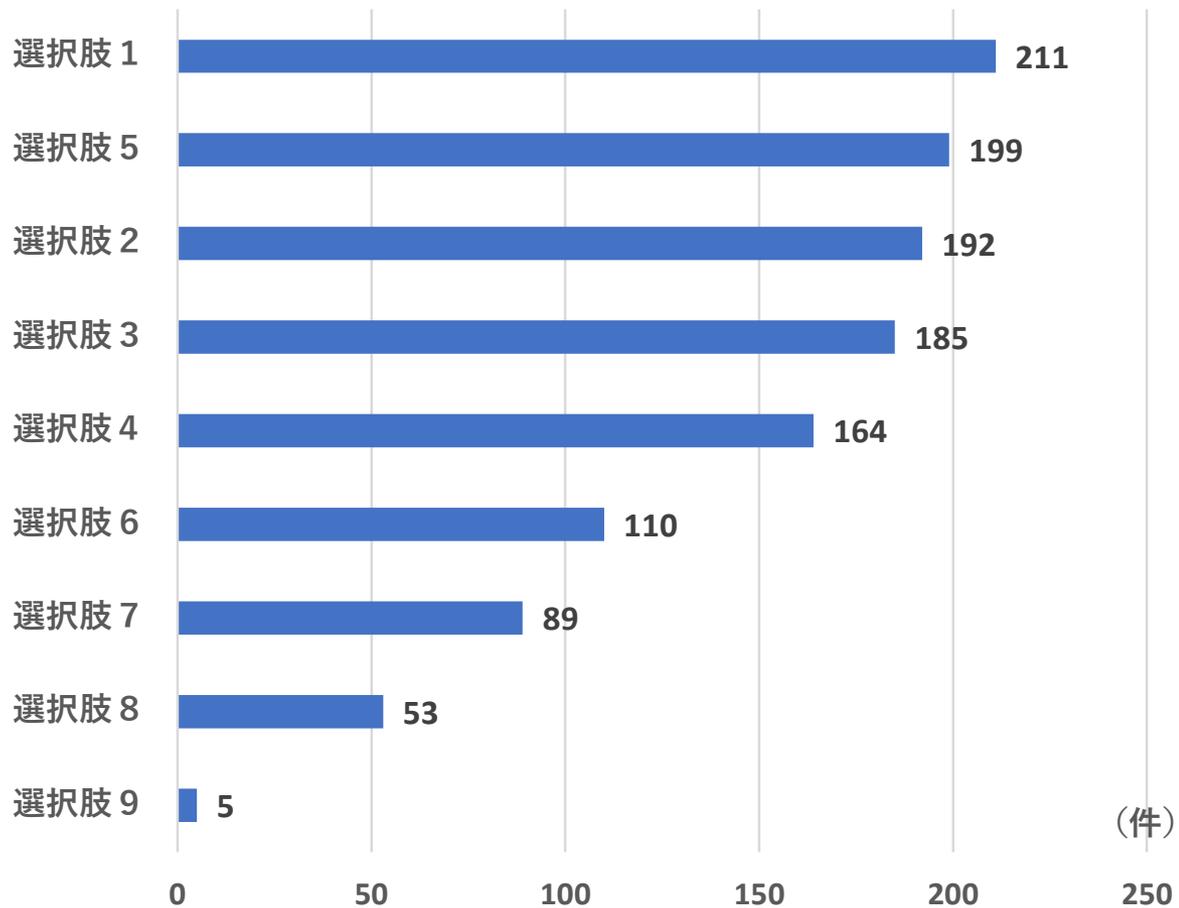
◆ 年代区分 × 観光分野選択肢5 (n=238)

	観光選択肢5		合 計
	非該当	該当	
10-20代	19	10	29
30代	47	18	65
40代	40	15	55
50代	24	17	41
60歳代以上	42	6	48
合 計	172	66	238

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 10.08, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 電子行政分野(n=266、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 電子行政分野選択肢4 (n=266)

	電子行政選択肢 4		合 計
	非該当	該当	
10-20代	8	23	31
30代	9	64	73
40代	29	35	64
50代	21	21	42
60歳代以上	35	21	56
合 計	102	164	266

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 40.51, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × 電子行政分野選択肢4 (n=266)

	電子行政選択肢4		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	42	93	135
パートタイマー・ア ルバイト	27	29	56
その他	26	22	48
主に家事や育児	7	20	27
合 計	102	164	266

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 12.14, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × 電子行政分野選択肢5 (n=266)

	電子行政選択肢 5		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	25	110	135
パートタイマー・ア ルバイト	22	34	56
その他	15	33	48
主に家事や育児	5	22	27
合 計	67	199	266

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 10.67, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 電子行政分野選択肢7 (n=266)

	電子行政選択肢7		合 計
	非該当	該当	
10-20代	20	11	31
30代	35	38	73
40代	49	15	64
50代	27	15	42
60歳代以上	46	10	56
合 計	177	89	266

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 20.50, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × 電子行政分野選択肢7 (n=266)

	電子行政選択肢7		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	83	52	135
パートタイマー・ア ルバイト	46	10	56
その他	32	16	48
主に家事や育児	16	11	27
合 計	177	89	266

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた($\chi^2(3) = 8.32, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 実現して欲しいサービス①(件数ベース)

順位	項目	件数	カテゴリー
1	地域ごとの予測を含む災害情報をリアルタイムで知ることができる	245	防災
2	高齢者などが運転免許証を返納しても、最適な時間・場所で交通サービスを利用することができる	214	交通
3	手続きに行く前に手続きに必要な書類や手続場所を知ることができる	211	電子行政
4	病院・薬局・介護施設などで、自分の診療やケアなどに必要な情報が、本人の同意のもとで共有され、どの施設でも適切な処置が受けられる	204	医療・福祉
5	自宅にいながらパソコンやスマートフォンなどで申請手続・手数料等支払いができる	199	電子行政
6	申請書や届出書を手書きしないで手続きができる	192	電子行政
7	手続の際に住民票などの添付書類を提出する必要がなくなる	185	電子行政
8	観測網の整備や過去の災害に関する情報などをもとに、詳細な災害予測・被害予測ができる	181	防災
9	避難所の情報を共有でき、不足する物資を効率的に供給することができる	181	防災
10	オンライン診療・健康相談などを在宅で受けられる	172	医療・福祉
11	高齢者の安否を遠方などの家族が確認できる	164	医療・福祉
12	結婚・出産・子育て・就職・退職などのライフイベントにかかる手続きが、ワンストップでできる(1箇所で開催する手続きが完了する)	164	電子行政
13	ケース別・年齢別に利用できる制度やサービスが自動的に配信されてくる	163	子育て
14	避難者の情報を活用し、必要な医薬品や医師・介護職員などを迅速に送り込むことができる	161	防災
15	電子図書館が整備され、読みたい本を好きなタイミングで、パソコンやスマートフォンなどで読む(借りる)ことができる	154	教育
16	駐車場の状況などをスマートフォンなどで確認できる	152	公園
17	アプリ等を活用して、日常生活において自分の体重や血圧、活動量(歩数)などのデータを記録し、個々に応じた健康づくりのアドバイスが受けられる	148	医療・福祉
18	被災された人の情報を効率的に管理することで、支援手続きなどの申請が円滑にできる	141	防災
19	バスなどの公共交通がどこを走っているかをスマートフォンなどで知ることができる	140	交通
20	A Iドリル等による一人ひとりの個性に合わせた個性を伸ばす教育を受けることができる	132	教育
21	ドローンや農業機械の自動化などの普及により、農作業の際の負担が軽減される	132	農業
22	利用料金の支払いを含む利用予約と予約状況の確認がスマートフォンなどでできる	132	公園
23	観光地などの混雑状況がリアルタイムで配信され、スムーズに観光ができる	131	観光
24	気温・湿度などの気象情報や、農作物の生育情報などから、最適なタイミングで施肥や収穫などができる	130	農業
25	I C Tの発展により、自動運転や無人運転が実現する	129	交通

(筆者作成)

◆ 実現して欲しいサービス②(件数ベース)

順位	項目	件数	カテゴリー
26	熟練した職人の技術を記録し、若い職人にその技術を分かりやすく引き継ぐことができる	123	産業
27	地域で活動する子育てサークルや地域の安全な遊び場など、地域別の子育て支援情報が受けられる	122	子育て
28	有害鳥獣対策がICT等を活用して実施される	120	農業
29	自動翻訳機能などを利用して、言語を気にせず外国人観光客と会話ができる	119	観光
30	ICTを活用して、市外企業のサテライトオフィスが設置される(働く場と移住者が増加する)	117	産業
31	ICTを活用して、事業者同士や大学等研究機関等との繋がり・ネットワークを構築できる	117	産業
32	使用された肥料や農薬などの情報を確認でき、安全・安心な農作物を購入することができる	116	農業
33	スマートフォンなどでお土産を購入することができる	111	観光
34	児童生徒の学習情報などが共有、分析されることにより、個人に対し効果的な教育を実現することで、学力の向上を図ることができる	110	教育
35	ICTを事業に活用する方法を気軽に学ぶことができる	110	産業
36	自治体などから自分にぴったりのサービスに関する情報が受けられる	110	電子行政
37	オンラインでの授業により、在宅で授業を受けることができる	106	教育
38	観光客の口コミなどから、人気のある観光地情報が自動的に配信されてくる	103	観光
39	販売量や販売価格がリアルタイムで把握でき、農作物の需要に応じた供給が可能となる	100	農業
40	センサーなどを活用し、自分の居場所がすぐ分かり、行きたい場所へ迷わず行けるようになる	96	交通
41	問い合わせをインターネットのチャットボット(自動応答)からできる	89	電子行政
42	デジタル化した歴史的文化財や博物館などの展示品を、スマートフォンなどで見ることができる	87	教育
43	公園内を自動運転の車に乗って移動できる	87	公園
44	行政の所持している情報(個人情報を除く)を企業活動に自由に利用できる	86	産業
45	子育てに関する相談を、電子メールやスマートフォンアプリなどで行うことができる	85	子育て
46	GPS端末などを活用して、子どもの所在をスマートフォンなどで確認することができる	81	子育て
47	VRなどを活用して観光地を観光することができる	66	観光
48	観光客の移動や購買などのデータを活用して、新たなビジネスチャンスの機会がわかる	66	観光
49	ビデオ通話を使った問い合わせができる(Zoomなど)	53	電子行政
50	VR(Virtual Reality)などを活用して災害体験ができる	45	防災

(筆者作成)

◆ 実現して欲しいサービス①(割合ベース)

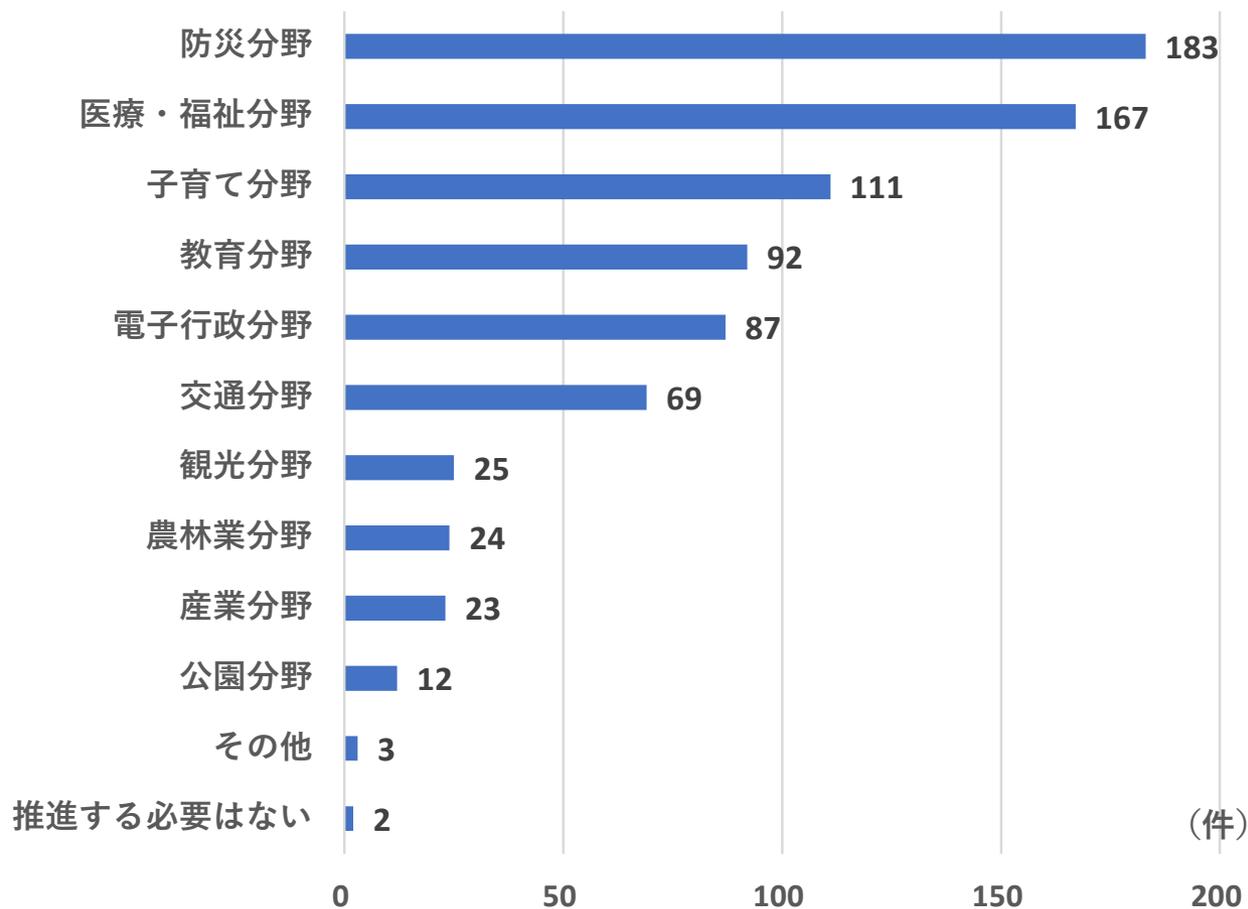
順位	項目	%	カテゴリー
1	地域ごとの予測を含む災害情報をリアルタイムで知ることができる	91.1%	防災
2	高齢者などが運転免許証を返納しても、最適な時間・場所で交通サービスを利用することができる	81.4%	交通
3	手続きに行く前に手続きに必要な書類や手続場所を知ることができる	79.3%	電子行政
4	病院・薬局・介護施設などで、自分の診療やケアなどに必要な情報が、本人の同意のもとで共有され、どの施設でも適切な処置が受けられる	77.6%	医療・福祉
5	自宅にいながらパソコンやスマートフォンなどで申請手続・手数料等支払いができる	74.8%	電子行政
6	申請書や届出書を手書きしないで手続きができる	72.2%	電子行政
7	手続の際に住民票などの添付書類を提出する必要がなくなる	69.5%	電子行政
8	ケース別・年齢別に利用できる制度やサービスが自動的に配信されてくる	69.4%	子育て
9	駐車場の状況などをスマートフォンなどで確認できる	68.2%	公園
10	観測網の整備や過去の災害に関する情報などをもとに、詳細な災害予測・被害予測ができる	67.3%	防災
11	避難所の情報を共有でき、不足する物資を効率的に供給することができる	67.3%	防災
12	オンライン診療・健康相談などを在宅で受けられる	65.4%	医療・福祉
13	電子図書館が整備され、読みたい本を好きなタイミングで、パソコンやスマートフォンなどで読む(借りる)ことができる	64.2%	教育
14	高齢者の安否を遠方などの家族が確認できる	62.4%	医療・福祉
15	結婚・出産・子育て・就職・退職などのライフイベントにかかる手続きが、ワンストップでできる(1箇所で開催する手続きが完了する)	61.7%	電子行政
16	避難者の情報を活用し、必要な医薬品や医師・介護職員などを迅速に送り込むことができる	59.9%	防災
17	利用料金の支払いを含む利用予約と予約状況の確認がスマートフォンなどでできる	59.2%	公園
18	ドローンや農業機械の自動化などの普及により、農作業の際の負担が軽減される	58.4%	農業
19	気温・湿度などの気象情報や、農作物の生育情報などから、最適なタイミングで施肥や収穫などができる	57.5%	農業
20	アプリ等を活用して、日常生活において自分の体重や血圧、活動量(歩数)などのデータを記録し、個々に応じた健康づくりのアドバイスが受けられる	56.3%	医療・福祉
21	観光地などの混雑状況がリアルタイムで配信され、スムーズに観光ができる	55.0%	観光
22	AIドリル等による一人ひとりの個性に合わせた個性を伸ばす教育を受けることができる	55.0%	教育
23	熟練した職人の技術を記録し、若い職人にその技術を分かりやすく引き継ぐことができる	53.2%	産業
24	バスなどの公共交通がどこを走っているかをスマートフォンなどで知ることができる	53.2%	交通
25	有害鳥獣対策がICT等を活用して実施される	53.1%	農業

◆ 実現して欲しいサービス②(割合ベース)

順位	項目	%	カテゴリー
26	被災された人の情報を効率的に管理することで、支援手続きなどの申請が円滑にできる	52.4%	防災
27	地域で活動する子育てサークルや地域の安全な遊び場など、地域別の子育て支援情報が受けられる	51.9%	子育て
28	使用された肥料や農薬などの情報を確認でき、安全・安心な農作物を購入することができる	51.3%	農業
29	ICTを活用して、市外企業のサテライトオフィスが設置される(働く場と移住者が増加する)	50.6%	産業
30	ICTを活用して、事業者同士や大学等研究機関等との繋がり・ネットワークを構築できる	50.6%	産業
31	自動翻訳機能などを利用して、言語を気にせず外国人観光客と会話ができる	50.0%	観光
32	ICTの発展により、自動運転や無人運転が実現する	49.0%	交通
33	ICTを事業に活用する方法を気軽に学ぶことができる	47.6%	産業
34	スマートフォンなどでお土産を購入することができる	46.6%	観光
35	児童生徒の学習情報などが共有、分析されることにより、個人に対し効果的な教育を実現することで、学力の向上を図ることができる	45.8%	教育
36	販売量や販売価格がリアルタイムで把握でき、農作物の需要に応じた供給が可能となる	44.2%	農業
37	オンラインでの授業により、在宅で授業を受けることができる	44.2%	教育
38	観光客の口コミなどから、人気のある観光地情報が自動的に配信されてくる	43.3%	観光
39	自治体などから自分にぴったりのサービスに関する情報が受けられる	41.4%	電子行政
40	公園内を自動運転の車に乗って移動できる	39.0%	公園
41	行政の所持している情報(個人情報を除く)を企業活動に自由に利用できる	37.2%	産業
42	センサーなどを活用し、自分の居場所がすぐ分かり、行きたい場所へ迷わず行けるようになる	36.5%	交通
43	デジタル化した歴史的文化的財や博物館などの展示品を、スマートフォンなどで見ることができる	36.3%	教育
44	子育てに関する相談を、電子メールやスマートフォンアプリなどで行うことができる	36.2%	子育て
45	GPS端末などを活用して、子どもの所在をスマートフォンなどで確認することができる	34.5%	子育て
46	問い合わせをインターネットのチャットボット(自動応答)からできる	33.5%	電子行政
47	VRなどを活用して観光地を観光することができる	27.7%	観光
48	観光客の移動や購買などのデータを活用して、新たなビジネスチャンスの機会がわかる	27.7%	観光
49	ビデオ通話を使った問い合わせができる(Zoomなど)	19.9%	電子行政
50	VR(Virtual Reality)などを活用して災害体験ができる	16.7%	防災

(筆者作成)

◆ スマートシティの重要な推進分野 (n=274、複数回答)



(筆者作成)

◆ 年代区分 × 子育て分野 (n=274)

	子育て分野		合 計
	非該当	該当	
10-20代	19	15	34
30代	26	47	73
40代	50	16	66
50代	30	14	44
60歳代以上	38	19	57
合 計	163	111	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 27.29, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 教育分野 (n=274)

	教育分野		合 計
	非該当	該当	
10-20代	22	12	34
30代	37	36	73
40代	38	28	66
50代	37	7	44
60歳代以上	48	9	57
合 計	182	92	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 27.71, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 防災分野 (n=274)

	防災分野		合 計
	非該当	該当	
10-20代	17	17	34
30代	27	46	73
40代	22	44	66
50代	14	30	44
60歳代以上	11	46	57
合 計	91	183	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 9.80, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 医療・福祉分野 (n=274)

	医療・福祉分野		合 計
	非該当	該当	
10-20代	13	21	34
30代	39	34	73
40代	28	38	66
50代	13	31	44
60歳代以上	14	43	57
合 計	107	167	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 13.36, p < .01$)。

(筆者作成)

◆ 年代区分 × 観光分野 (n=274)

	観光分野		合 計
	非該当	該当	
10-20代	31	3	34
30代	66	7	73
40代	59	7	66
50代	36	8	44
60歳代以上	57	0	57
合 計	249	25	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(4) = 10.27, p < .05$)。

(筆者作成)

◆ 職業区分 × 産業分野 (n=274)

	産業分野		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	124	17	141
パートタイマー・ア ルバイト	56	1	57
その他	43	5	48
主に家事や育児	28	0	28
合 計	251	23	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 8.55, p < .05$)。

(筆者作成)

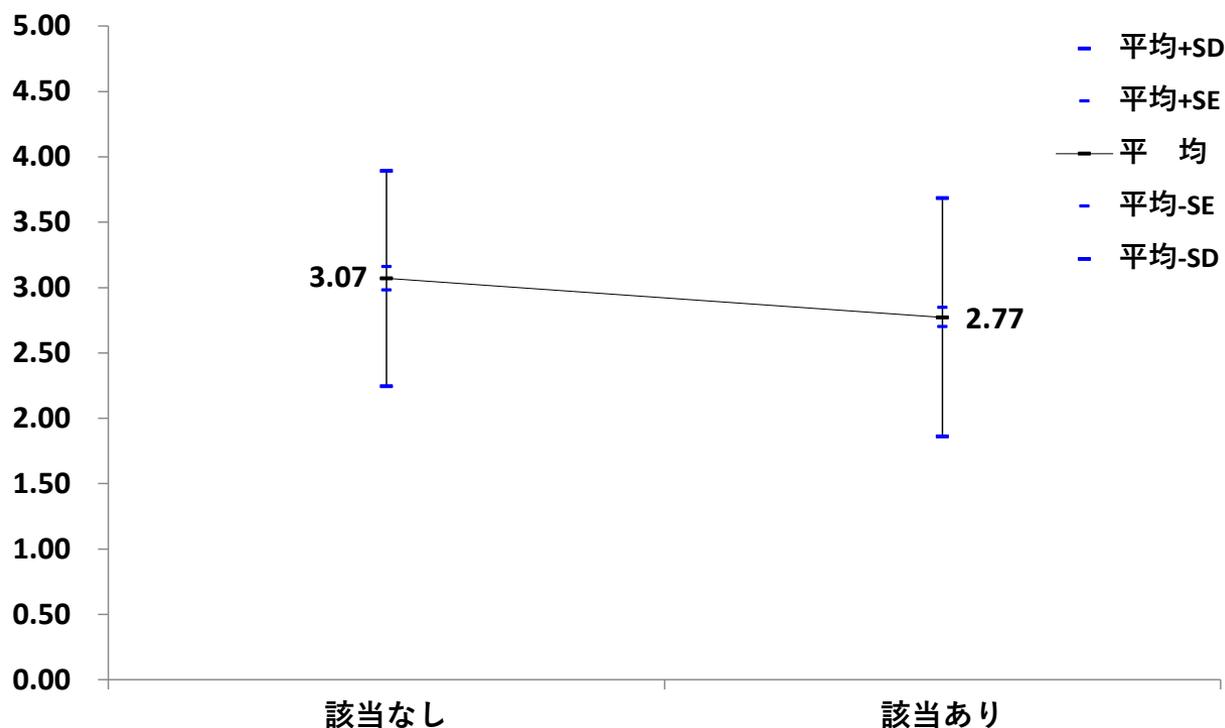
◆ 職業区分 × 交通分野 (n=274)

	交通分野		合 計
	非該当	該当	
会社員・団体職員・ 公務員	109	32	141
パートタイマー・ア ルバイト	42	15	57
その他	29	19	48
主に家事や育児	25	3	28
合 計	205	69	274

※ χ^2 検定の結果、回答には有意な差が認められた ($\chi^2(3) = 8.90, p < .05$)。

(筆者作成)

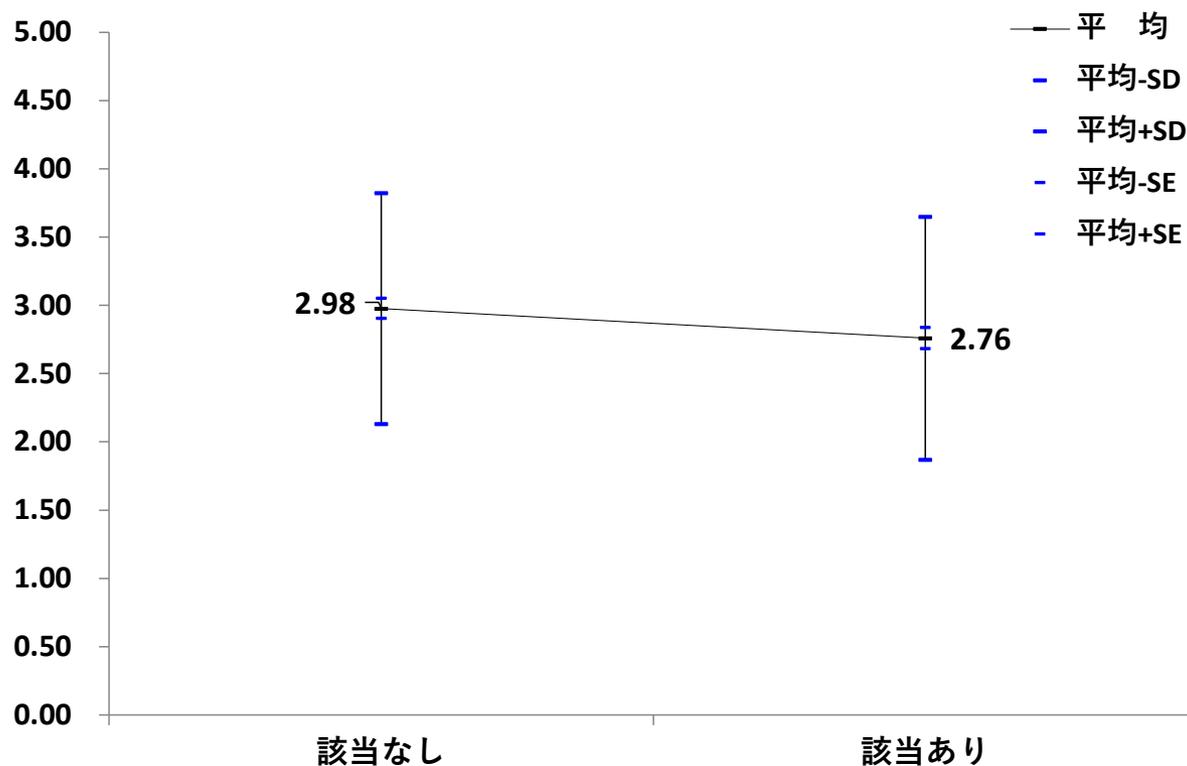
◆ 教育分野選択肢4 × 情報化満足度 (5点満点・n=240)



※t検定の結果、回答には地区区分で有意差が認められた($t(238)=2.51, p<.05$)。

(筆者作成)

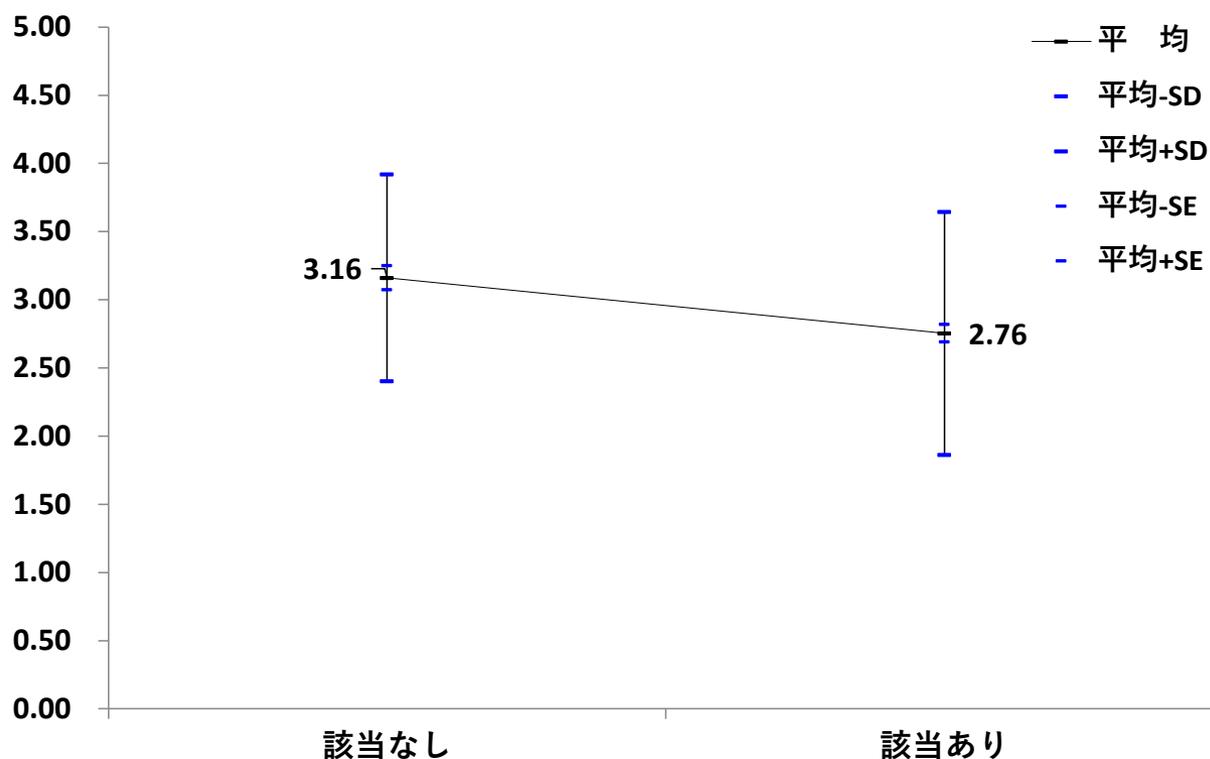
◆ 交通分野選択肢1 × 情報化満足度 (5点満点・n=263)



※t検定の結果、回答には地区区分で有意差が認められた($t(261)=2.38, p<.05$)。

(筆者作成)

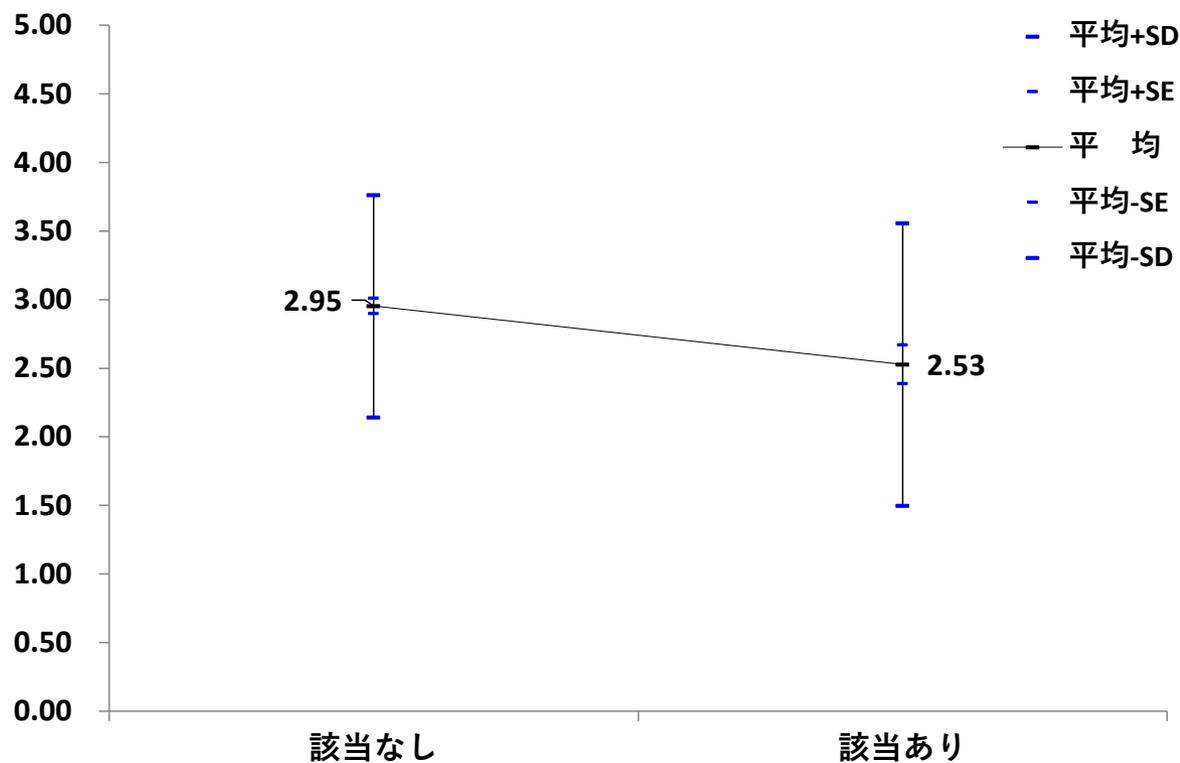
◆ 電子行政分野選択肢2×情報化満足度 (5点満点・n=266)



※t検定の結果、回答には地区区分で有意差が認められた($t(264)=3.47, p<.01$)。

(筆者作成)

◆ 電子行政分野選択肢8×情報化満足度 (5点満点・n=266)



※t検定の結果、回答には地区区分で有意差が認められた($t(264)=3.22, p<.01$)。

(筆者作成)